
教育総合センター だより

NO. 100
平成18. 5. 1

父性、小さい山に登る

尼崎市立教育総合センター
所長 神田 光



淡路島の中心に標高 448 メートルの小山がある。山容から淡路富士とも呼ばれ、イザナギ、イザナミの二神が国生みのとき一番先に創られた山だといわれている。それが名の由来となった先山（せんざん）である。山頂には淡路西国巡礼の1 番札所千光寺（せんこうじ）があり、淡路八景の一つに選定されている。

50 年程前、我が家の正月行事として八幡さんへの初詣の後、母や妹と別れ父と二人の千光寺参詣があった。私は小学校入学前から4年生位まで父に同行した。かつて淡路交通の電車は洲本から福良まで島を横断していた。参詣には中心近くの長田駅から山麓の先山駅まで乗車し、下車後山頂を目指して歩いた。幼い私にとって小さな山への登山はそれほど楽しいものではなかった。できるなら特別な食事をし、正月の晴れやかな気分のまま家でのおんびりしていたかった。リズムカルに登ってゆく父。遅れながら息を乱し続く私。整備されていない山道は木の根が血脈のように走り、雨にえぐられ深く溝を持つ道は乾いた川底のようで、靴底の面積の小さな幼児の足には掘り所を与えず、何度も滑り落ち、膝をつき、転倒しながら父を追った。30 歳代になったばかりの父は活力に溢れ、私の遅れをあまり気にせず先行した。父は兵隊時代の背囊（はいのう）を作り直した袋に、餅数個と握り飯と水筒等を入れ筋肉の隆起した肩に背負っていた。おそらく山道に難儀する幼い私に励ましの言葉を掛けてくれたのだろうが、父の声の記憶はない。山の中腹近

く、父は何を思ったのか、疲労した私を道端の高木に抱いて登った。そして、私をてっぺんに置いたまま木を降り、暫く迎えに来てくれなかった。私は絶景を見る余裕などなく、その高さの恐怖に初めて「すくみあがる」という体験をした。自分の意思に反して体は小刻みに震え続けた。どのくらいの時間が経過したのか、再び父の手に体を委ねた時、震えは止まった。頂上近く、境内の大きな階段下に休憩所があり、眺望はさすが淡路八景、疲れを忘れるものであった。人の群れがそれぞれに餅を食っている。父と私も地面に穴を空け、炭を置いただけの餅焼き場に割り込んで持参した餅を焼いた。食った後、階段上の山門前に着いた。山門を護るのは他所では狛犬だがここでは猪である。山門をくぐって右手の斜面に、故人を偲び握り飯を転がす場所がある。しゃがんで般若心経を唱えながら父はバシー海峡で戦死した兄の名前も唱えた。私は真似をしてしゃがみ、父の厳然とした横顔を見、握り飯の行方を見た。目の先には広葉樹の暗い森が続いており落ち葉に隠れた握り飯は見えなくなっていた。おそらく猪や狸の餌になったのであろう。登り道の苦しさから「なぜこんなことをしているのだろうか」という疑問を持ったが、促され鐘桜堂の梵鐘を撞いた後はそれも霧散し、解放された心は今日一日を楽しく受け入れた。下山道で夕闇に消えてゆく若い父の背中には心に残った。父は 50 歳で死去した。寡黙な生き方は参考になっている。

平成18年度教職員研修・教育研究の方針

学校教育の重要な役割は、児童生徒が社会の変化に対応し、主体的・創造的に生きていくために必要な資質や能力を育成することです。教育総合センターでは、今年度、研修体系が大きく変わります。教職員の指導力向上と意識改革を大きな責務として、次のような研究・研修事業を予定しています。

1 基本研修

校・園長、教頭など職階別、教務・学年主任など職務別研修を実施します。職階・職務別研修では、自主的主体的研修活動を支援するため、研修の選択制を導入します。

1年目教員研修では、指導主事によるマンツーマン指導を実施します。2年目、3年目、4年目、20年目など経験年数別研修も、それぞれに応じた課題で研修します。

また新たに、2年目・3年目教員は、学力向上対策演習講座を基本研修とします。

1年目・4年目教員は、公開授業研修講座を基本研修とします。公開授業研修講座等を通して、授業設計力を高めるとともに、学習指導案をデータベース化し、AMA-NET上で市内での共有化を図ります。また、異校種交流は、4年目教員研修で実施します。

2 専門研修

児童生徒に基礎・基本を身につけさせ、多様な能力や個性の伸長を図る教育を推進しようとする教員を支援するのが専門研修です。

新たに、次の分野別に講座を設けました。

- (1) 教職課題研修講座
- (2) 教育相談研修講座
- (3) 授業力向上研修講座
- (4) 基礎学力向上対策演習講座

教員のライフステージに応じた多様な研修講座を提供します。さらに、基礎学力向上対策に特化した研修プログラムや時代の要請に応じた多様な研修講座を新規に実施します。

また、夏季休業中に、社会体験研修講座として、民間企業で、経営の実際・企業努力等を体験する民間企業派遣、及び肢体不自由児のための通園施設での福祉施設派遣の研修講座を予定しています。

3 特別研修

トワイライト自主研修講座に参加しませんか

教育総合センターでは、出前研修として、中学校コンピュータ特別研修・教育機器活用特別研修、学級経営・授業づくり等でお悩みの先生方の相談や校内研修を支援するため、指導主事を派遣します。

また、トワイライト自主研修講座として夜間（木曜 午後6時から7時30分）の研修機会を提供します。

情報教育や教育事務、学級づくりや授業づくり等、子どもの学びを支援する効果的な実践方法を考え、教育のプロとしての力量を高めるための研修講座を実施します。

4 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、教育総合センター及び教育相談課の職員と協同して実践的な研究を行います。

本年度は次の9部会です。

- ・心の教育
- ・学校へ行こう
- ・国語科教育
- ・算数・数学科教育
- ・理科教育
- ・英語科教育
- ・小学校情報教育
- ・デジタルコンテンツ活用
- ・生徒指導

（教育総合センター所長 神田 光）

☆☆☆☆☆平成18年度教育相談課運営の方針☆☆☆☆☆

近年、今の大人が子どもの時と生活環境は大きく変化し、豊かな人間関係と望ましい社会体験が少なくなり、子どもたちの心にも様々な問題が起こっています。

本市においても、いじめ、不登校、キレる子ども、青少年の非行問題、しつけや子育て不安、虐待、LD・ADHD等、多岐にわたる相談に対応してまいりました。

今年度も教育相談課のスタッフ24名は、学校や家庭への支援の立場で、充実した対応を図っていききたいと考えております。

1 組織及び事業の概要

教育相談課は、来室相談・電話相談を中心とした教育相談担当と不登校児童生徒対策としての適応指導担当の二つの係からなっています。

2 事業の内容と運営方針

<教育相談担当>

(1) 教育相談事業

来室相談・電話相談、出張相談等を通して、子どもや保護者、学校園からの相談に応じ、児童生徒の望ましい発達を支援します。心療内科医による相談もあります。

(2) 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラーを派遣し、教職員のカウンセリングマインドについての研修や心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談等を実施します。

(3) 心の教育強化支援事業

各校が抱える課題解決の一助として、大学教授・精神科医等を講師として小学校に派遣します。(15校)

心の教育特別支援員(12名)を配置し、LD・ADHD等の子どもへの指導や学習活動、学級経営を支援します。

<適応指導担当>

(1) 不登校児童生徒対策事業

学校生活に適応しにくい児童生徒に対し、適応指導教室(はつらつ学級)への通所や自宅への訪問指導等を通して、早期の学校復帰と自立を支援します。

(2) ハートフルフレンド派遣事業

不登校状態の児童生徒に対して、年齢が近い大学生や社会人を派遣し、会話や遊び等を通して早期の学校復帰と自立を支援します。

(3) スクールカウンセラー配置事業

県が、全中学校と一部の小学校にスクールカウンセラーを配置します。配置がない小学校は、連携校のスクールカウンセラーが活用できます。

(4) 生活指導員配置・社会体験活動事業

中学校に生活指導員の配置や社会体験活動を実施することによって、無気力型やあそび・非行型等の不登校生徒への支援を行う。

3 教育相談の現場から

平成17年度の相談件数及び内容は、概ね次のような状況になっています。

(1) 面接相談(延べ).....2,084件
電話相談.....973件

(2) 出張相談
子どもや教師対象.....153件
子育て研修会等の講話.....10件

(3) 面接相談内容
精神情緒(不登校等).....35.0%
性格行動(友人、親子関係等).....45.3%
身体言語(発達遅滞等).....5.8%
学業進路(進路等).....11.6%
その他(教師の相談等).....2.3%

(4) 適応指導教室(はつらつ学級)
入級者 小学生3人 中学生33人
学校への復帰率.....83.3%
(教育相談課長 大龍 雅子)

教育相談課・教育総合センター 組織・事務分掌表

平成18年4月1日現在

学校教育部長 石原 誠治

学務課	学校教育課	生徒障害 指導児 ・教育 担当	教育相談課長 大龍 雅子		学校 保健 課	教育総合センター所長 神田 光		
			教育相談担当 教育相談（来談、出張） 電話相談 教育相談に関する調査・研究・研修 高等学校カウンセラー派遣 心の教育強化支援事業 係長 西本 由美 教育相談担当の統括 指導主事 是枝 周二 教育相談、研修、カウンセラー派遣 嘱託員 武田 静栄 教育相談、調査研究 嘱託員 田中 優喜 教育相談、調査研究 嘱託員 奥田 佐恵 教育相談、調査研究 嘱託員 岡本 敦 教育相談、調査研究 嘱託員 山本 順子 電話相談、庶務 嘱託員 清水 陽三 電話相談			研修担当 教職員研修 教育に関する調査・研究・教材開発 教育総合センターの運営・計画調整 予算・管理 庶務 文書管理 教育情報収集・整理・提供 情報誌の発行 教科書センターの管理 係長 谷口 陽三 研修担当の統括、校・園長研修、特別研修、教育総合センターの運営・計画調整、予算・管理、文書管理 指導主事 廣井 尋美 教頭、学校マネジメント、新任校長・教頭、1年目教員、ステップ・アップ、管外転入教員、学級経営、国語科、生活科、音楽科、食育、授業設計 指導主事 加藤 英仁 学年経営、学校安全推進、1～4年目養護教員、4年目教員、20年目教員、一般教養、カウンセリング基礎演習、公開授業、生徒指導、不登校児童・生徒支援、特別支援、図工・美術科、英語科 指導主事 市川 勉 2年目教頭、管理職人権、研究主任、4年目教員、人権、社会体験、道徳、キャリア教育、社会科、総合的学習、学力向上 指導主事 鈴木 美臣 教務主任、1年目教員、2年目教員、3年目教員、4年目教員、一般教養、教育法規、障害児、国際理解、福祉、環境、算数・数学科、幼児、図書館 主任 高橋 正広 予算・決算、複合施設の維持管理、庶務 再任用 倉田 利彦 情報誌の発行、学級経営相談、生涯学習施設連絡会議 嘱託員 幾田みよき 資料の収集・整理・提供、教科書センターの管理		
			適応指導担当 不登校児童・生徒の対策及び指導・助言 適応指導教室（はつらつ学級）における指導 ハートフルフレンド派遣事業等 生活指導員配置・社会体験活動事業 スクールカウンセラーの派遣 係長 大石 泰樹 適応指導担当の統括 指導主事 林 幸二 適応指導、不登校対策、研修啓発 嘱託員 廣峰 勝義 はつらつ学級担当 嘱託員 吉谷 太一 はつらつ学級担当 嘱託員 小玉 多恵 はつらつ学級担当 嘱託員 平岡 美佳 はつらつ学級担当 嘱託員 岸本 昭 訪問指導 嘱託員 河野 和正 訪問指導 嘱託員 古川 智敏 訪問指導 嘱託員 谷 本吉 訪問指導 嘱託員 西塚 成代 訪問指導 嘱託員 仁科 俊和 訪問指導 嘱託員 畑 卓 訪問指導 嘱託員 松山 満 訪問指導 嘱託員 山本 正三 訪問指導			情報教育担当 教職員研修 情報教育に関する調査・研究・教材開発 ネットワークシステム 複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画・助言 係長 米田 浩 情報教育担当の統括、研修管理、視聴覚センターの運営・計画・助言、複合施設の維持管理、情報モラル 指導主事 藤井健三郎 情報教育の推進（中・高） AMA-NET 活用関係、教育用コンピュータシステム管理、学習用コンピュータ（中）（中）初任者対応、新任管理職コンピュータ、中・高ネットワーク活用、メール関係、ノート関係、情報管理・データベース、理科 指導主事 中嶋 修一 情報教育の推進（幼・小・養） 学校マネジメント、プレゼンテーション、（小）初任者対応、授業設計、アナウンス教室、16ミリフィルム技術講習、算数、総合的学習、学力向上 指導主事 上原 郁雄 情報教育の推進（中） 学習用コンピュータ（中）（中）初任者対応、管理職コンピュータ活用、事務職員コンピュータ活用、事務支援システム関係、事務合理化、体育、技術・家庭科、ホームページ関係 再任用 津川 圭司 事務処理支援、複合施設の維持管理、視聴覚ライブラリーの管理		

平成18年4月1日付 人事異動

【転入者等】(前任)

適応指導担当指導主事：林 幸二（生徒指導担当指導主事）
 嘱託員（教育相談課）：山本 正三（社会教育課）
 河野 和正（成文小学校長）
 松山 満（尼崎北小学校長）
 仁科 俊和（上坂部小学校長）
 吉谷 太一（金楽寺小学校長）
 平岡 美佳（尼崎サポートセンター）

教育総合センター所長：神田 光（青少年補導課長）
 研修担当指導主事：鈴木 美臣（大庄北中学校教諭）
 情報教育担当指導主事：上原 郁雄（小園中学校教諭）
 研修担当主任：高橋 正広（児童課主任）

【退職者】

嘱託員（教育相談課）：今本英佐子、山田 大介、安田 幸子
 増田 博恭、下村 隆康、岡田 年平
 研修担当主任（教育総合センター）：宮内 市子

【転出者】(転出先)

適応指導担当係長：平垣 新一（青少年補導課長）
 教育総合センター所長：倉橋 忠（南武庫之荘中学校長）
 研修担当係長：櫻野 友弥（生徒指導・障害児教育担当課長）
 研修担当指導主事：阿部 保彦（生徒指導担当指導主事）
 情報教育担当指導主事：伊藤 吾郎（学校教育課指導主事）

開館時間ご案内 平日 午前9時～午後9時 《ただし、教育相談および視聴覚ライブラリーは午後5時15分までとします》 なお、次の日は取り扱いいたしません。【土曜日・日曜日・祝日・年末年始】	発行 尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1-1（06-6423-3400） 発行者 神田 光 題字 尼崎市教育委員 岡本 元興
---	---